

2010.2.22  
第141号

発行  
福島県市町村教育委員会  
連絡協議会  
北会津支会  
北会津支会  
北会津支会  
編集  
福島県教育庁  
会津教育事務所  
編集協力  
小・中学校長会

「教育に関する所感」



会津教育事務所内三支会連絡会  
会長 大波敏昭  
(会津若松市教育委員会委員長)

今の子どもたちの表情は輝いているでしょうか？  
幼稚園、小学校、中学校、高校と進むに連れて、その輝きが失われるような気がしてなりません。  
生まれるときは、五体満足でさえあれば良いと思っていたのに、大きくなるにつれてテストの点数や成績、他の子どもとの比較に走ってしまい、それが子どもたちの負担につながっていると感じざるを得ません。どうしても点数、成績主義で子どもたちを見てしまっ、すばらしい個性を見ていないから、それを活かすことも出来ないと思われまます。(私もそうでした。)

のではないかと感じています。車のCMで、子どもが桃太郎の主役のテレビCMがありましたが、子どもたち全員が桃太郎でありました。自分の子が主役でないのだめだと言ってクレームをつける親御さんが非常に多いそうです。  
戦後、どう間違ったのか、自由と権利の主張を求めすぎ、教育現場に悪影響が及んでしまっと思ひます。難しい話となっ再構築が必要と思ひます。何のために勉強し、学校に行くのか、真の目的をはっきりすべきと思ひます。

た時からPTA活動に参加し、なるべく多く学校、先生方とのかかわりを持つように心がけてきました。子どもたちのため、学校のためと思っ頑張ってきましたが、最終的には自分のためにも非常に良い経験をさせていたのだと思っております。  
いまの親御さんたちは学校に行かせておけば、子どもは大丈夫、健全に育つと思っしていることが多々見受けられます。しかし、親や親が身に付けてきた経験等を伝えるのは家庭であって、学校ではないはずで、学校の存在が大きくなりすぎ、反対に家庭での教育力が下がってしまっように思ひます。  
また、地域の人たちも少子高齢化、後継者不足で、皆で子どもたちを守っていかうとする気が希薄になってしまひました。やはり、子どもたちは地域の宝物ですし、その後継者でもありますから、なんらかの形で地域の教育力を高める方法を考えていかなければならないと思ひます。

- 敬称略
- ◎文部科学大臣表彰  
○地方教育行政功労者表彰  
前三島町教育委員会委員長 栗城 卓夫  
前金山町教育委員会委員 酒井 健一
  - 優秀教員表彰  
会津美里町立本郷第一小学校 教諭 菊池 幸実  
会津若松市立第四中学校 教諭 兼松 満朗
  - 優良公民館表彰  
会津美里町本郷公民館
  - 学校給食表彰  
大戸地区学校給食センター
  - ◎県教育委員会表彰  
○地方教育行政功労者  
前喜多方市教育委員会教育長 鈴木 充正
  - 学校教育功労者  
会津若松市立鶴城小学校 校長 佐藤 憲  
会津若松市立第一中学校 校長 川上 関男
  - 優秀教員  
会津若松市立荒館小学校 教諭 入澤 みどり  
会津若松市立謹教小学校 主査 菅家 一也  
喜多方市立熱塩小学校 教諭 大西 圭子  
会津若松市立一貫中学校 教諭 小寺 真紀  
会津若松市立第三中学校 養護教諭 佐藤 美恵子
  - 社会教育関係  
・功績顕著な団体・施設  
喜多方市熊倉公民館
  - 文化財関係  
・功績顕著な団体・施設  
新宮地区重要文化財保存会
  - 学校体育・学校保健関係  
・学校保健功労者  
元喜多方市立第二中学校 校医 星 康人  
・功績顕著な団体・施設  
猪苗代町立翁島小学校
  - ◎県学校保健優良校表彰  
・栄誉賞  
喜多方市立山都第二小学校  
・最優秀賞  
喜多方市立姥堂小学校  
・優秀賞  
喜多方市立熊倉小学校  
三島町立三島小学校
  - ◎福島県学校保健優良校・功労者表彰  
○学校保健優良校  
磐梯町立第一小学校  
喜多方市立姥堂小学校  
喜多方市立塩川中学校  
○学校保健功労者  
喜多方市立第一小学校薬剤師 星 陽子

- ◎県教職員研究論文入賞者  
・特選  
福島県立耶麻農業高等学校 教諭 菊地 一彦  
・入選  
北塩原村立裏磐梯小学校 (代表) 校長 橋本 千賀子  
・奨励賞  
喜多方市立入田付小学校 (代表) 校長 増井 陽一
- ◎県学校緑化コンクール表彰  
○学校林等活動の部  
・福島県県林業協会会長賞  
会津若松市立湊小学校  
○学校環境緑化の部  
・教育長賞 会津坂下町立金上小学校  
・福島県緑化推進委員会会長賞  
会津若松市立川南小学校  
・福島県県林業協会会長賞  
北塩原村立裏磐梯小学校
- ◎私が作る朝ごはんコンテスト学校表彰  
・学校賞 会津若松市立東山小学校  
会津美里町立高田小学校
- ◎水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者表彰  
・優秀賞 猪苗代町立翁島小学校
- ◎食育推進実践校表彰  
・優秀賞 猪苗代町立吾妻小学校

# 特集 特別支援教育の視点で学級経営・授業づくりを

学校教育課

子どもたちの心の悩みはさまざまな問題行動に現れますが、問題行動を発生させない予防こそが最大の対策です。子どもたちが一日の多くの時間を過ごす学級は、何の不安もなく落ち着いて過ごせる空間でなければなりません。

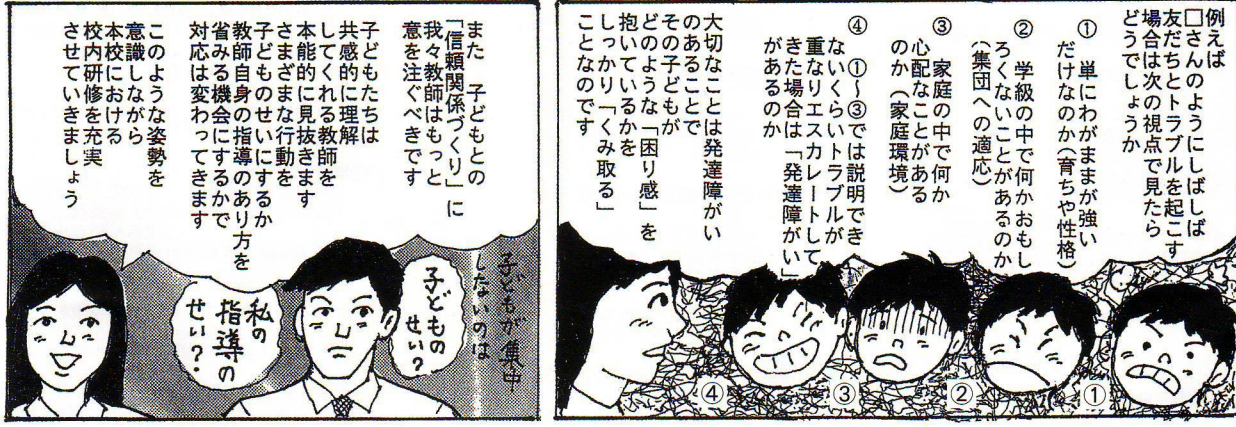
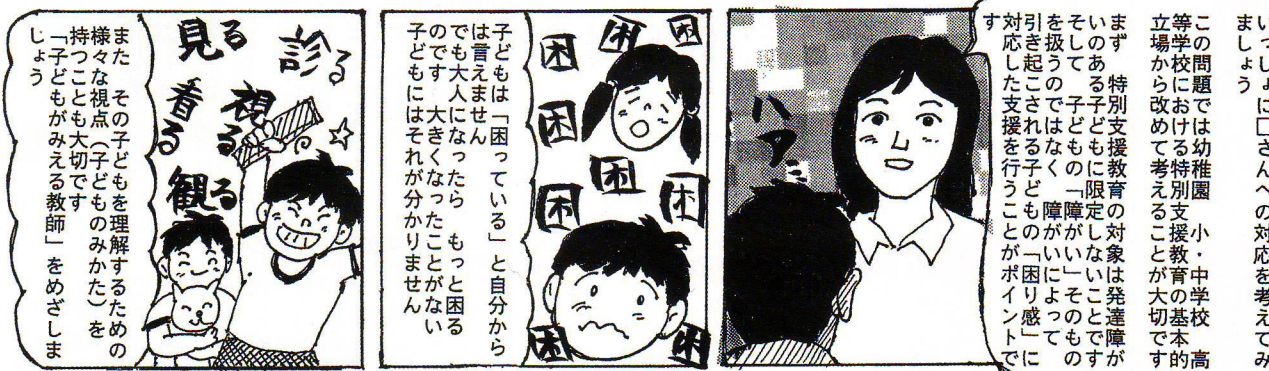
現在の子どもの状況を見ると、様々な事情から不登校になっている子ども、問題行動を繰り返す子ども、その前兆のある子ども等がいます。このような状況の子どもたちに共通する背景の一つとして「対人関係調整力の問題」があります。

対人関係をうまく形成できない、集団生活に参加できない子どもたちが学級という枠に集められたとき、さまざまな問題行動を起こします。学級がとてもストレスの多い場所であることを、我々教師は改めて認識すべきです。

このことから、今までと同じような学級経営・授

業づくりの考え方ではベテランの先生でもうまくいかないということが起こり得ます。子どもたちの学校生活の基盤である学級を支えていく担任は、特別支援教育の視点を取り入れた学級経営力と授業づくりの力を高めていく必要があります。それは、発達障がいのある子どもには「ないと困る」支援であり、どの子どもにも「あると便利」な支援を増やすという意味です。

福島県は、特別支援教育の基本理念を「地域で共に学び、共に生きる教育」へと発展させています。すべての幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校には、その理念の下、具体的な教育実践が求められているのです。この資料を契機として、各校(園)において学級の規則や人間関係を大切にしたい学級集団づくりや授業づくりの校内研修の充実を期待します。



参考文献 ○ 福島県学校教育審議会答申「今後の特別支援教育の在り方について」(H21.9.18)  
 ○ 「発達障害のある子の困り感に寄り添う支援」佐藤暁 著(学研)  
 ○ 「Q-Uによる特別支援教育を充実させる学級経営」河村茂雄 編著(図書文化)  
 ※「困り感」という用語は学研の登録商標です。

作画 指導主事 馬場 泰

### 我が町からの情報発信

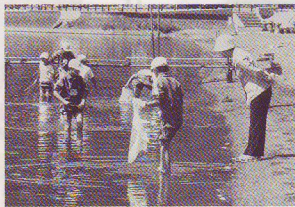
#### 「環境と教育活動」

猪苗代町立翁島小学校  
校長 五島喜代子

本校は自然に恵まれた落ち着いた教育環境にあります。南は猪苗代湖、野口英世記念館があり、北に磐梯山が一望できます。白鳥が校舎裏の田んぼの餌をついばんでいます。一見この風景は昔と同じように見えますが一步踏み入ると数々の課題が見つかりました。それは水質汚染と渡り鳥の被害が出たことです。

私は子どもたちと家族、地域が美しい自然を共有し、共に教え合い、協働する意識づくりが必要と考えました。その一つとして子どもたちが自然を体感し、豊かな心情を育てるための学校経営ビジョンの構築、水環境教育に力を入れました。総合的な学習に位置づけ、他教科との関わりを鮮明にする手だての提示や調査分析を地元の専門家と共に学び、学校から情報を発信することによって猪苗代湖を再び美しい湖にしたいという思いが家族や地域の団体の方々に理解され協力を得ることができました。

環境教育は学校だけの活動だけでは真なるものに近づかないと考えます。学校は「環境は人を育てる」ことを積極的に発信し、人が人らしく生きる自然、人材を子どもたちと一緒に体感する必要があると思います。



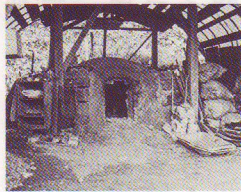
#### 「郷土に根ざした総合的な学習」

柳津町立西山小学校

本校では、地域学習の一環として、総合的な学習の時間において、以下の4つの学習内容を今年度は実施してきました。

- A. 「桐」(3・4学年)
- B. 「博士山」(5・6学年)
- C. 「山菜」(3～6学年)
- D. 「炭焼き」(3～6学年)

(調べ学習と体験学習を一体【保護者の協力による「窯」】)



今回は、その中から、「炭焼きについて知る」について紹介します。「炭焼きについて知る」探究型の学習については、以下のような流れで、ここ数年実施してきました。

(1) 炭について調べよう。

○図鑑やインターネットを利用して、炭そのものや炭焼きについて調べる。

(2) 炭焼きの材料を集めよう。

#### 雑感

西会津町教育委員会教育長  
佐藤 晃



毎年、趣味でそばを栽培しています。雪が消えてから種を播くまでの間には、そば畑が雑草だらけにならないように3～4回耕しています。この作業を怠ると雑草の勢いに負けて、そばの生長が不十分となり、収穫量が激減してしまいます。

ところで、去年は種を播く適期に雨が何日も続き、例年よりも5日程遅れての種蒔き作業となってしまいました。その結果、収穫量は平年の約半分でした。僅か数日の遅れでこんなにも違うものかと痛感した次第です。雑草防止の作業を怠ったり、適期を逸した種播きだったりではいい出来映えは望めません。

教育の場においてもこれと似たようなことがいえるようです。指導の適時性を忘れた対応では未来を担う、かけがえのない児童生徒に確かな学力や豊かな人間性・社会性を身につけさせることは期待できません。「教育は人なり」で、教師にはそのタイミングを見極める力量も求められます。心していかなければと自分にいい聞かせているこの頃です。

○学校周辺で、炭焼きの材料となる物を集めてくる。

(3) 炭を焼こう。

○保護者の協力の下、窯を使って炭を焼く。

(4) 炭焼きについてまとめよう。

○班ごと新聞形式でまとめ、最後に発表し合う。

現在、教育課程編成の時期にあたり、本校でも23年度の完全実施に向け学習内容の見直し作業が進んでいます。「郷土に根ざした」という視点から、今後も(形を変えながらも)地域と一体となった学習を継続していきたいと考えています。



【飾り炭の確認中】



【3・4年生の飾り炭の作品】

# 作品と指導

工作

『くいしんぼのなかまたち』



会津若松市立行仁小学校  
2年 藤津 朋也

透明な容器のいろいろな形から発想を広げ、楽しみながらくいしんぼの生き物をつくることができました。

カエルが大きな口を開けて、色セロファンやモールのごちそうを、今まさに食べようとしています。

指導者 岩沢 孝子

習字

金山町立金山小学校  
6年 菅家 綾

『情熱』



綾

文字の組み立て方に要点を絞って取り組ませました。りっしんべんは中心より右の幅を狭くすることでつくりの部分が強調され、バランスがよい字となりました。また、2つの字の横画が右上がり、力強さが前面に出た作品です。

指導者 高木 弘志

絵

創作絵本「ひとりぼっちのマトリョーシカのはなし」



喜多方市立第一中学校  
2年 長嶺 瑞希

ロシアの民芸品マトリョーシカを主人公として、一人ぼっちの寂しさを、自分の胎内から仲間をたくさん出して解決するという、今の子どもたちの願いに見事にリンクする12ページの幼児向け絵本になっている。優しい色彩もいい。

指導者 小林 克也

# 私の抱負

企業研修に学んだこと



会津若松市立一箕小学校  
五十嵐 一欽

この研修で特に学んだことは接客についてです。「笑顔・早さ・正確さの三カ条」「笑顔は技術である」「一人のお客様の信頼を失うことで十人のお客様を失う」これらはレジュメや接客研修の指導者、部門の主任より頂いた言葉です。相手の身になって考え、その思いに込めるサービスの積み重ねで信頼が築かれるのです。児童の実態をしっかり捉え、保護者の思いに敏感に対応できることなど、私たち教員にとっても大切なことだと感じます。児童と接する一瞬一瞬を大切にしていこうと改めて感じる事ができた研修でした。

学びの途中  
福島大学大学院  
学校臨床心理専攻



会津美里町立本郷中学校  
高石 圭子

「臨床心理学を学校現場に活かすこと」が、私の大きな課題である。特に「発達障がい」への支援に活かしていきたいと考えている。「発達障がい」というと、AD/H/D・LD・高機能自閉症がよく知られているが、これらは複雑に重なり合っていることが多く、子どもによってもその程度は異なる。「発達障がい」は脳機能の特性のため、発達にアンバランスがあるものである。そのアンバランスに合った支援を行い、子どもの学力向上や進路実現を支えると同時に、何よりもその子らしく学校生活をおくれるように支援していきたいと考えている。

台北日本人学校にて



会津若松市立第二中学校  
善澄 博

今年度から、海外派遣教員として台北日本人学校に勤務しています。現在中学部三年生の担任をしていて、日本各地の高校だけでなく台湾以外の国の高校、台湾の高級中学に進学する生徒もいて、その進学先の多彩さに、さらには入試事務手続きの違いに驚き戸惑いながらも生徒が希望の進路を実現できるようにがんばっています。

まだまだ来年度以降のことを考える余裕が出てこないのが正直なところです。しかしこの海外派遣というすばらしい経験を自分自身のさらなる成長に結びつけることができよう、外国における理科教育の研究や語学研修、異文化の理解など様々なことに挑戦していきたいと考えています。